

**「抗血小板内服継続下および抗凝固薬・ヘパリン置換下胃 ESD の治療成績の検討
PGA フェルト+フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策の検討」に関する研究のお知らせ**

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2020年7月7日 ~ 2023年12月31日

〔研究課題〕

抗血小板内服継続下および抗凝固薬・ヘパリン置換下胃 ESD の治療成績の検討
PGA フェルト+フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策の検討

〔研究目的〕

抗血小板内服継続下および抗凝固薬・ヘパリン置換下胃 ESD の治療成績の検討
PGA フェルト+フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策を解析し安全性とリスク因子を明らかにします。

〔研究意義〕

超高齢化社会の到来に伴い、抗血栓薬内服中の患者は増加する傾向にある。2017年に「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン 直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補 2017」が作成され、抗血栓薬の休薬による血栓閉塞症の誘発にも配慮が必要であることが示されています。

しかし、胃内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)において、抗血小板薬内服継続下や抗凝固薬内服患者、とくにヘパリン置換を行った患者で高率に後出血を認めることが報告されています。本研究では、PGA フェルト+フィブリン糊被覆法を ESD 後翌日に行うという新たな後出血予防対策を解析し安全性とリスク因子を分析します。

〔対象・研究方法〕

2015年4月から2020年5月までに当院で胃 ESD を施行した患者を対象とし、年齢、性別、腎機能、脳梗塞の既往、心房細動、高血圧、脂質異常症、糖尿病、精神・神経疾患、外科手術後などの基礎疾患を評価し PGA フェルト+フィブリン糊被覆法を ESD 後翌日に行うという新たな後出血予防対策を解析し安全性とリスク因子を分析します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

〔その他〕

対象となる職員で、ご自身の情報の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

実施責任者： 綱島弘道（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 助教）

研究責任者： 土井晋平（帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 准教授）

住所： 川崎市高津区二子 5-1-1 TEL： 044-844-3333(代表)〔内線 3487〕